

バードウォッチング

プログラムの概要・ねらい

少年自然の家周辺には、様々な野鳥が住んでいる。双眼鏡と図鑑を持ってバードウォッチングに出かけ、様々な野鳥を探してみよう。

バードウォッチングの楽しみ方には、ルールはない。ハイキングなどと組み合わせると、一層楽しいプログラムとなる。

場所	所内～所外		
時間	1時間30分～		
値段	無料		
季節	年間（冬期推奨）	人数	何人でも
準備物	<p>【利用者】こんな野鳥がいたよシート、筆記用具、水筒、救急用品、デジタルカメラ（クリップボードがあると便利）、季節に合わせた服装</p> <p>【自然の家】図鑑、フィールドスコープ、双眼鏡（最大26台）</p> <p>※数量については要確認</p>		

①準備

事前に「こんな野鳥がいたよシート」を必要数枚ページより印刷しておく。

※自然の家で印刷を希望する場合は、料金が発生する。

観察道具（双眼鏡など）をサービスセンターで受け取る。

※図鑑、双眼鏡などは事前に数量を確認し、足りない場合は持参する。

②実施の流れ

【時間】

0:00 道具の準備

0:05 諸注意・観察方法の説明

- ・ 双眼鏡の使い方、安全面の指導（太陽を見ないなど）
- ・ フィールドマナーの説明（道から外れない、静かに観察するなど）

0:10 シートに天気・調査地点の様子を記録する。

0:15 バードウォッチングスタート

- ・ 双眼鏡や図鑑などを活用し、出会った鳥たちを観察する。
- ・ 野鳥だけではなく、他の生物や植物、自然の不思議・疑問なども記録するとよい。

1:00 観察終了

※観察した野鳥をまとめて「こんな野鳥がいたよ」シートに記入し、自然環境学習センターへ掲示することができる。

1:30 片付け

※プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



③後片付け

使用した器材類は、破損がないか確認し、サービスセンター受付へ返却する。



こんな野鳥がいたよ

日にち	月	日	曜日	かんさつじかん 観察時間	時ごろ
学校名	小学校			天気	
学年	年生			ニックネーム:	

かんさつ
観察 Memo:

しらべて名前がわかった鳥	何匹くらいいた?	
例) つばめ	5	

やちようかんさつ ばん しぜんかんきょうがくしゅうセンターで見た鳥をしらべよう。



こんな野鳥がいたよ

日にち	月	日	曜日	かんさつじかん 観察時間	時ごろ
学校名	小学校			天気	
学年	年生			ニックネーム:	

かんさつ
観察 Memo:

しらべて名前がわかった鳥	何匹くらいいた?	
例) つばめ	5	

やちようかんさつ ばん しぜんかんきょうがくしゅうセンターで見た鳥をしらべよう。